

65歳に向けた啓発パンフレットの作成について

高齢者の社会参加の割合と、要介護のリスク（健康、認知機能及び生活機能の低下）の低減効果との間に一定の相関関係が認められている。区では、講演会や各種講座の実施等、様々な介護予防に係る周知啓発事業に取り組んでいるが、今般、社会参加をテーマとした介護予防パンフレットを作成し、高齢者の社会参加と地域貢献による支えあいの地域づくりの推進に努めることとした。

1 作成の趣旨

地域の様々な活動や相談窓口等の紹介パンフレット（以下、「65歳向けパンフレット」という。）を、65歳という介護保険の第1号被保険者になる節目の年齢の人に配布し、地域活動等に参加するきっかけとする。

また、認知症パンフレット（平成29年3月発行）を併せて送付し、認知症に対する備え等を啓発する。

2 65歳向けパンフレットの内容

地域活動、運動、生涯学習、就労等、介護予防に資する次のサービスについて紹介する。

(1) 運動で元気に

スポーツ・コミュニティプラザ等スポーツ施設、ウォーキングマップの紹介等

(2) 学びで豊かに

中野まなVIVAネット、認知症サポーター養成講座の紹介等

(3) 地域の活動にチャレンジ

区民活動センター、町会・自治会、中野ボランティアセンターの紹介等

(4) 仕事で輝く

東京しごとセンター、中野区シルバー人材センターの紹介等

(5) いざというときに備える

エンディングノート、地域包括支援センターの紹介等

3 配布方法

平成29年4月1日から平成30年3月31日までの間に満65歳となる中野区民に、郵送する。（約3,300人）

4 スケジュール

平成30年2月中旬

- ・冊子発送
- ・中野区ホームページに冊子の内容を掲載